

平成16年度 関西大学 研修員

研究助成課

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究目的
文	前期2名 後期1名 または、 前期1名 後期2名 の3名以内	教授	奥 純	H16.4.1 ～ H16.9.30	1 本学 2 ポンピドゥ芸術文化センター付属公共情報図書館(フランス) 3 フランス国立図書館 4 国立国会図書館 5 ジャン＝マリー・チパウ文化センター(ニュー・カドニア)	1. アラン・ロブ＝グリエとミシェル・ビュートルの研究について、近年必要にせまられている調査・研究を集中的に行う。 2. 文学部組織改革に伴いリニューアルされた、フランス語フランス文学専修の授業としてふさわしい授業内容を、特に文化面の授業を中心に策定する。
		教授	伊 東 理	H16.10.1 ～ H17.3.31	1 本学 2 イギリス(調査・資料収集) 3 米国(調査・資料収集) 4 自宅 5 京都大学 6 国立国会図書館	1. 中心的研究課題としているイギリス小売商業の地域システムの動向に関して、未だ分析していない資料を研究・分析するとともに、イギリスで補足的な研究資料収集を行い、従来の研究をとりまとめる。併せて新たな研究の展開方向を模索する。 2. 共同研究を行っている「アメリカ大都市圏の動向研究」を進める。 3. 授業・教育内容を再検討し、充実を図る。
		助教授	藤 田 高 夫	H16.10.1 ～ H17.3.31	1 本学(図書館) 2 京都大学人文科学研究所 3 東京大学東洋文化研究所 4 中央研究院歴史語言研究所 5 大英図書館	戦国から秦漢時代にかけての出土資料の全体を整理しつつ、中国官僚制の形成と展開を、出土資料をメインの材料として再構築する。各地の図書館・研究所に所蔵される発掘報告・図録を精査して、これまでの収集資料の欠落をおぎない、文書行政と軍事制度を二つの柱として、中国古代官僚制の原理を明らかにし、成果を刊行するための準備を完了する。

年齢及び在職年数は、平成16年4月1日現在である。

平成16年度 関西大学 研修員

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究目的
経	前期1名 後期1名の 2名以内	教授	秋岡弘紀	H16.4.1 ～ H16.9.30	1 自宅 2 大阪大学大学院経済学研究科 3 大阪大学社会経済研究所 4 国立国会図書館本館 5 同関西分館	経済政策の総合的実証研究について、これまで個々に刊行してきた成果を、最新の研究動向を踏まえた上で総括・再編成して一つの論文にまとめる。
		教授	北川勝彦	H16.10.1 ～ H17.3.31	1 本学(図書館) 2 国立民族学博物館 3 外務省外交史料室	両大戦間期における日本 アフリカ通商関係史について、本学所蔵の資料のほか、国立民俗学博物館や外務省外交史料館所蔵の文書にあたり、調査・研究を行う。
商	前期1名 後期1名の 2名以内	助教授	鍛冶邦雄	H16.10.1 ～ H17.3.31	1 本学(個人研究室、図書館) 2 京都大学経済研究所 3 関西学院大学図書館	経済のグローバル化とローカリズムの対立と相互浸透について、特に人的移動の面に焦点を当てて研究を行う。 また途上国における貧困削減について、援助、開発政策、住民参加の連携の実情と今後の可能性について考察する。
社	前期1名 後期1名の 2名以内	教授	大西正曹	H16.4.1 ～ H16.9.30	1 中小業総合研究所 2 各地の産業支援センター 3 本学(図書館・個人研究室) 4 自宅	諸外国に追い上げられ、その存立基盤が揺らぎつつある日本各地の地場産業の実態を調査し、活性化策を探る。
		教授	杉野昭博	H16.10.1 ～ H17.3.31	本学(個人研究室、図書館)	近年の「ディスアビリティ」理論を内外の文献から整理検討するとともに、国内の障害関連施設にて「ディスアビリティ」理論に関するボランティア研修を行う。
総情	前期1名 後期1名の 2名以内	教授	桑原尚史	H16.10.1 ～ H17.3.31	1 本学(個人研究室) 2 自宅 3 広島大学 4 静岡県立大学	これまで行ってきた社会的公正に関わる判断の過程に関する研究を進め、状況的要因を加えた大規模な調査を行うとともに、緻密な実験を行う。

年齢及び在職年数は、平成16年4月1日現在である。